

GSI Creos



人とのふれあいを  
もっと深く、もっと新しく。

*Produce the Future*

次代を創る

第82期 株主通信

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

株式会社 GSIクレオス

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第82期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に総力をあげて取り組んでまいりました。その結果、期初に掲げた目標を達成するとともに、当社の最重要課題でありました復配についても、第65期（平成7年3月期）以来、17期ぶりに実現することができました。

当社は、長期にわたって無配を続け、株主のみなさまには多大なご迷惑をおかけしました。深くお詫びを申し上げますとともに、これまでのみなさまのご厚情にあらためて御礼を申し上げます。

今後は、安定的な収益を確保するとともに、財務体質の改善を図り、配当の継続に努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

取締役社長

深瀬佳洋

## 第82期の業績

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復しつつあるものの、タイの洪水被害によるサプライチェーンの混乱や欧州債務危機による世界的な景気の減速、円高の定着などにより、低調に推移しました。

このような状況のもと、当期業績は、アジアを中心とする海外取引が拡大しましたので、売上高は前期比5,703百万円、4.9%増収の121,728百万円となりました。

売上総利益は、売上高が増加しましたので、前期比364百万円、2.8%増益の13,159百万円となり、営業利益は、前期比56百万円、3.0%増益の1,948百万円となりました。経常利益は、為替差損益と持分法による投資損益の改善により、前期比247百万円、17.3%増益の1,674百万円となりました。当期純利益は、特別損失の減少により、前期比298百万円、36.1%増益の1,126百万円となりました。

## 次期の見通し

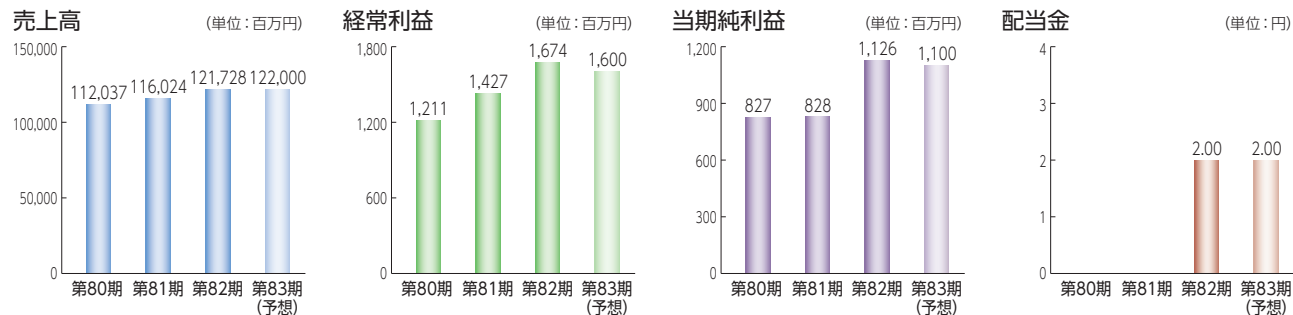
今後の経営環境につきましては、世界経済は、欧州の債務危機などを背景とする下振れリスクが存在しており、また、わが国経済も、デフレや円高、少子高齢化対策が進んでおらず、さらには、原発事故の影響による電力の制限が懸念されるなど依然不透明であることから、厳しい状況が続くものと思われます。

こうした状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大を重点施策として、強みの発揮できる事業分野へ優先的に経営資源を配分することで、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高122,000百万円、営業利益1,900百万円、経常利益1,600百万円、当期純利益1,100百万円を見込んでおります。

なお、ナノテクノロジー事業は、早期の収益化に向け、塗料、燃料電池、複合材料の3分野に絞り込み、経営資源を投入してまいります。

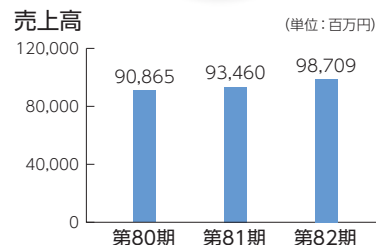
## 業績の推移(連結)



### 繊維事業 主要商品：繊維原料、テキスタイル、レッグ・インナー・アウターウェア 他

(売上高 98,709百万円 前期比 5.6%増)  
(営業利益 1,624百万円 前期比 0.8%増)

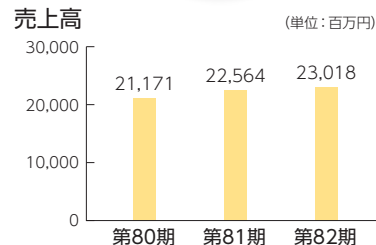
- 機能性の高いインナー用の原糸および生地取引は大幅に伸長しました。また、企画提案型の婦人ファンデーションおよびインナー製品の取引は、原材料や中国での人件費をはじめとする生産コスト上昇の影響を受けましたが、堅調に推移しました。一方、量販店向けの実用衣料は、震災による特需が一部あったものの、パンストの取り扱いが減少するなど総じて苦戦しました。
- 欧米および韓国向けアウター用生地輸出は、円高にもかかわらず、高付加価値商品の提案により増加しました。婦人アパレルは、専門店向けの卸事業の不振を直営店事業がカバーし、OEM取引も、アパレル向けレディース品を中心に回復しました。



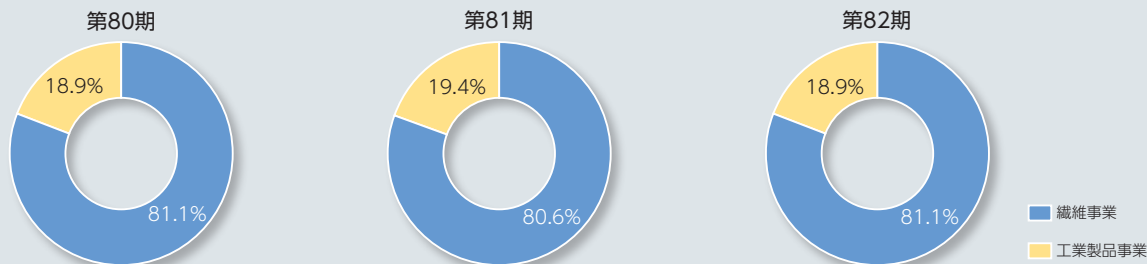
### 工業製品事業 主要商品：化学品、機械装置・資材、ホビー・生活関連品 他

(売上高 23,018百万円 前期比 2.0%増)  
(営業利益 827百万円 前期比 0.6%増)

- エレクトロニクス関連機材は、中国向けに半導体関連装置の販売もあったことから増加しました。化学品は、欧米向けの塗料・樹脂の硬化用添加剤が好調に推移しました。また、フィルムは、震災の影響を受けましたが、前年並みとなりました。
- ホビー関連商品は、プラモデル用塗料や塗装用器具が堅調に推移しました。



#### 売上高構成比



## ■ ドイツの大手自動車用複合材製造設備メーカーと総代理店契約を締結 ～CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた自動車軽量化への取り組み～

当社は、2011年12月にヨーロッパでの自動車用複合材製造設備のトップメーカーであるDieffenbacher社（ドイツ）と日本国内における総代理店契約を締結しました。

同社の複合材製造設備は、複合材（強化プラスチック）を材料とする自動車用パーツを生産する設備ですが、その大きな特徴は、炭素繊維等にプラスチック樹脂を混入し、熱処理と圧力を加えながら成形する作業工程をスピード化した点にあります。複合材は、



複合材を材料とする自動車用パーツ

鉄などの金属に比べ軽量であり、燃費低減効果が期待できるため、ヨーロッパでは、日本やアメリカに先行する形で自動車の車体に活用されています。

今後は、新たな環境配慮型ビジネスとして、同設備を日本の自動車メーカーや部品メーカーなどに紹介・販売し、日本における自動車軽量化への動きに貢献してまいります。



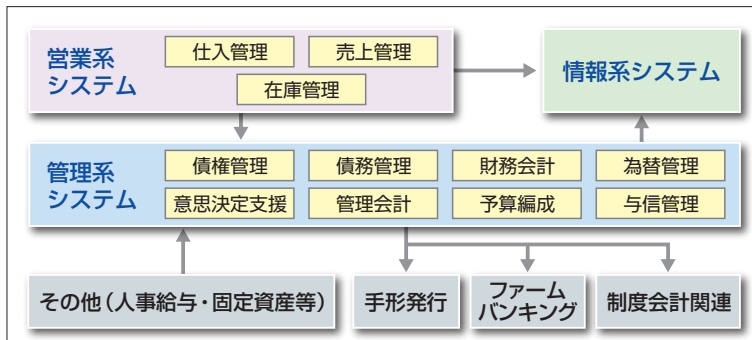
自動車用複合材製造設備の一例

## ■ 管理系基幹システムを再構築

当社は、本年3月に会計を中心とする管理系のシステムを完成させ、その稼働を開始しました。

新管理系システムの導入に際しては、オープン環境のソフトを選択したこと、および業務の効率化・標準化に取り組んだことで、IT開発・維持コストを最適化するとともに、業務コストの削減を実現しました。また、新システムでは、社内の制度変更や法改正といった社内外の環境変化に迅速に対応することが可能になると同時に、より正確な業績把握とそれに基づく確かな経営判断が可能となりました。

今後は、管理系情報の有効活用を図ることはもちろんのこと、新システムのセキュリティ管理をさらに強化してまいります。また、2014年の稼働を予定している新営業系システムを最適なものとするため、両システムの情報連携の強化を図り、情報基盤を磐石なものにしてまいります。



新システムの相関図

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>46,163</b>	<b>44,388</b>
現金及び預金	8,435	9,425
受取手形及び売掛金	27,640	25,792
たな卸資産	9,361	8,333
その他	725	837
<b>固定資産</b>	<b>10,931</b>	<b>10,642</b>
有形固定資産	5,402	5,590
無形固定資産	321	116
投資その他の資産	5,207	4,935
<b>資産合計</b>	<b>57,094</b>	<b>55,031</b>
<b>流動負債</b>	<b>40,481</b>	<b>38,303</b>
支払手形及び買掛金	20,056	18,828
短期借入金	17,342	16,791
その他	3,082	2,683
<b>固定負債</b>	<b>4,779</b>	<b>5,798</b>
長期借入金	3,572	4,481
その他	1,206	1,317
<b>負債合計</b>	<b>45,261</b>	<b>44,102</b>
<b>株主資本</b>	<b>13,259</b>	<b>12,133</b>
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	5,219	4,092
自己株式	△55	△54
その他の包括利益累計額	△1,475	△1,277
少数株主持分	48	72
<b>純資産合計</b>	<b>11,832</b>	<b>10,928</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>57,094</b>	<b>55,031</b>

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	平成23年4月1日～平成24年3月31日	平成22年4月1日～平成23年3月31日
<b>売上高</b>	<b>121,728</b>	<b>116,024</b>
売上原価	108,568	103,228
<b>売上総利益</b>	<b>13,159</b>	<b>12,795</b>
販売費及び一般管理費	11,211	10,903
<b>営業利益</b>	<b>1,948</b>	<b>1,891</b>
営業外収益	211	279
営業外費用	484	744
<b>経常利益</b>	<b>1,674</b>	<b>1,427</b>
特別利益	3	24
特別損失	181	354
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,496</b>	<b>1,096</b>
法人税等合計	368	267
少数株主利益	0	1
<b>当期純利益</b>	<b>1,126</b>	<b>828</b>

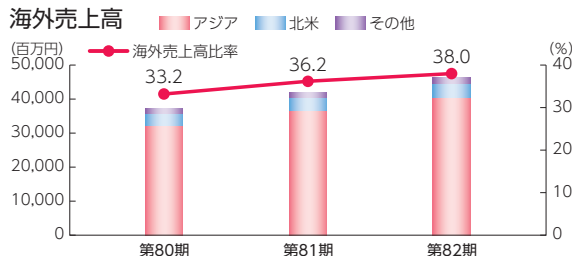
### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

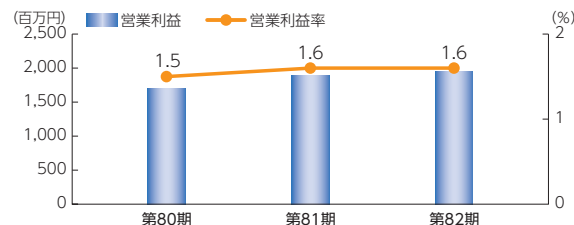
科 目	当期	前期
	平成23年4月1日～平成24年3月31日	平成22年4月1日～平成23年3月31日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>112</b>	<b>1,049</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△710</b>	<b>△178</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△386</b>	<b>△1,194</b>
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>8,435</b>	<b>9,425</b>

## 業績指標(連結)

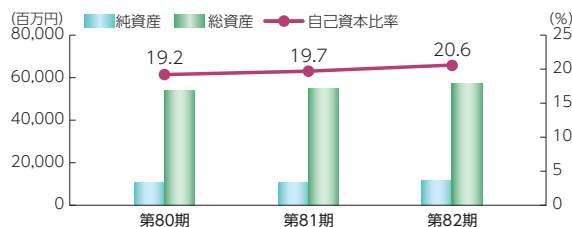
### 海外売上高



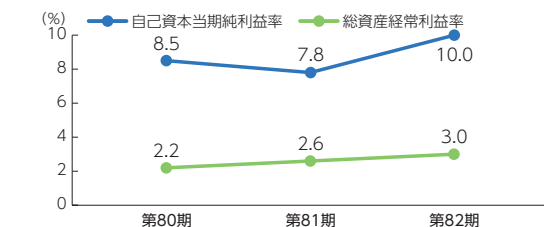
### 営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



### 純資産 (百万円) / 総資産 (百万円) / 自己資本比率 (%)



### 自己資本当期純利益率 (%) / 総資産経常利益率 (%)



## 単体財務諸表

### 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
流動資産	36,166	34,963
固定資産	11,731	11,400
<b>資産合計</b>	<b>47,897</b>	<b>46,363</b>
流動負債	34,149	31,984
固定負債	4,125	5,178
負債合計	38,274	37,162
純資産合計	9,623	9,200
<b>負債純資産合計</b>	<b>47,897</b>	<b>46,363</b>

### 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日～平成24年3月31日	平成22年4月1日～平成23年3月31日
売上高	86,600	84,331
売上総利益	8,230	8,722
販売費及び一般管理費	7,478	8,068
営業利益	752	654
経常利益	622	841
当期純利益	550	342

## 会社概要

### ■ 会社の概要 (平成24年3月31日現在)

会社名 株式会社GSIクレオス  
本社 東京都千代田区九段南二丁目3番1号  
設立 1931年10月31日  
資本金 71億86百万円  
従業員数 523名(連結)  
営業所等 本社(東京都千代田区)  
大阪支店(大阪市中央区)  
柳橋営業所(東京都台東区)  
五反田営業所(東京都品川区)  
福岡営業所(福岡市博多区)  
北陸営業所(福井県福井市)  
ナノカーボン開発センター(川崎市川崎区)  
東京ベイ物流センター(千葉県船橋市)  
海外拠点 13ヵ所(現地法人および駐在員事務所)

### ■ 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株  
発行済株式の総数 64,350,663株  
(自己株式299,052株を除く)  
株主数 6,927名

### ■ 大株主(上位10名) (平成24年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.49
株式会社みずほ銀行	3,182	4.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.93
日本生命保険相互会社	2,586	4.02
東レ株式会社	1,982	3.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,783	2.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,391	2.16
日本興亜損害保険株式会社	1,119	1.74
日本証券金融株式会社	942	1.46
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー 505103	702	1.09

(注) 持株比率については、自己株式(299,052株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

### ■ 連結子会社 (平成24年3月31日現在)

国内  
株式会社セントラル科学貿易  
大三紙化工業株式会社  
株式会社オフィス・メイト  
株式会社ジーマーク  
株式会社いずみ  
丸一産業株式会社  
株式会社クレオスアパレル  
海外  
GSIホールディング社  
GSIアメリカ社  
GSI香港社  
GSI上海社

### ■ 役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役社長 深瀬佳洋  
代表取締役専務 中島浩二  
常務取締役 宮崎満  
常務取締役 松下康彦  
常務取締役 吉永直明  
取締役 田中正道  
取締役 中山正輝  
取締役 荒木靖司  
取締役 富田正憲  
取締役 新美一夫  
常勤監査役 石川均  
常勤監査役 浅野幹雄  
社外監査役 岩田紀治  
社外監査役 金井博芳

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.gsi.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

#### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

